

梵鐘

梵鐘は、1255年に鑄造されました。これは建長寺で最も古いものの1つで、国宝に指定されています。建長寺の初代住職である蘭溪道隆（1213-1278）による銘文が刻まれています。寺のその他の建造物とは異なり、鐘楼は伝統的な藁葺き屋根のままです。

この高さ2.1メートル、重さ2.7トンの鐘は、14世紀と15世紀に建長寺のほとんどを焼き尽くした火事でも破壊されることがありませんでした。梵鐘には長い歴史があったので、梵鐘としては珍しく、第2次世界大戦中も、政府によって原料として融かすために接收される事態を免れました。

梵鐘は古いものですが、今でも当初の目的である時報として使われています。この鐘は毎日、午後5時と6時の間に鳴らされ、特別な催しの際にも用いられます。